

平成27年度予算案の主な事業

1 谷中防災コミュニティセンター関連経費 （防災機能・区民事務所・区民館・児童館・こどもクラブ・図書館）	1
2 たなか多目的センター関連経費 （たなかスポーツプラザ・たなか舞台芸術スタジオ）	1
3 総合型地域スポーツクラブ支援	2
4 循環バス路線の整備	3
5 子育てアシスト	3
6 認可保育所の誘致／小規模保育施設の誘致	3
7 世界遺産登録推進	4
8 平和祈念	5
9 台東区公式ホームページ	5
10 社会保障・税番号制度対応 （普及啓発・システム構築・個人番号カード交付等）	5
11 旧東京音楽学校奏楽堂改修	6
12 台東区産業振興事業団運営	6
13 電線類地中化モデル実施／安全・安心な道づくり	6
14 鉄道駅エレベーター等整備事業助成	7
15 蔵前小学校改築	7
16 忍岡中学校大規模改修	8
17 玉姫保育園等大規模改修	8
18 台東区ジュニアオーケストラ	8
19 上野の森ジュニア合唱団	9

平成27年度予算案の主な事業

(額は千円単位を四捨五入)

1 谷中防災コミュニティセンター関連経費 1億5,730万円

(【全般・区民事務所・区民館】区民課)

(【防災機能】災害対策課)

(【児童館等】児童保育課)

(【図書館】中央図書館)

地域コミュニティや地域防災の拠点となる谷中防災コミュニティセンターとして、西部区民事務所谷中分室、区民館、児童館、こどもクラブ及び図書館を開設する(谷中コミュニティセンターを、防災機能を備えてリニューアルオープン)。

△所在地

○台東区谷中5丁目6番5号

△施設概要

○防災機能 災害対策地区本部、災害対策支援室、
防災啓発展示コーナー

○西部区民事務所谷中分室

○谷中区民館 集会室4室(洋室3、和室1)、調理室、
多目的ホール、トレーニング室

○谷中児童館・谷中こどもクラブ

○中央図書館谷中分室

2 たなか多目的センター関連経費 5,604万円

(【たなかスポーツプラザ】青少年・スポーツ課)

(【たなか舞台芸術スタジオ】文化振興課)

平成27年4月に旧田中小学校を活用した「たなか多目的センター」を開設する。

(1)「たなかスポーツプラザ」

一般の個人・団体の貸し出しのほか、一部時間帯を総合型地域スポーツクラブの活動拠点として活用することで、区民に多様なスポーツの機会を提供し、スポーツ環境の向上を図る。

(2)「たなか舞台芸術スタジオ」

舞台芸術活動の支援及び、区民が芸術文化に触れる機会を創出する。

△所在地・開館時間等

- 台東区日本堤2丁目25番4号 たなか多目的センター
- 開館時間（スポーツプラザ） 9時～21時
（舞台芸術スタジオ） 9時～22時
- 休館日 第1月曜日（月1回）、年末年始

△施設概要

たなかスポーツプラザ（1階・3階）

- 体育館（500㎡） 3階
- 小体育室（2室） 1階・3階
- ※1階に子ども向けボルダリングが楽しめるクライミングウォールを配置
- 会議室（2室） 1階・3階
- 交流サロン 1階
- グラウンド（1,351㎡）

たなか舞台芸術スタジオ（2階）

- 小稽古場（64㎡） 2室
- 大稽古場（128㎡） 1室
- 制作室（20㎡） 3室【無線LAN利用可】
- 交流サロン（58㎡） 【無線LAN利用可】

3 総合型地域スポーツクラブ支援

56万円

（青少年・スポーツ課）

たなかスポーツプラザを拠点とし、本年4月に創設される台東区初の総合型地域スポーツクラブでは、フットサルや卓球、バドミントン等、これからスポーツを始めたいと思っている方やスポーツを通じて地域の人たちと交流を持ちたいと思っている方にスポーツを楽しく体験できる場を提供していく。

△クラブに対する区の支援内容

- クラブの目的や活動内容を区の媒体等を活用した広報
- クラブの紹介パンフレットを作成し区内各種体育イベントで配布
- クラブの運営等専門的知識を有するアドバイザーを招聘
- 入会促進のため、体験会などのイベントを開催
- 施設の優先予約、備品の無償貸与、事務スペースの提供等

4 循環バス路線の整備

1億8,781万円

(交通対策課)

公共交通の利便性向上を図るため、「北めぐりん」、「南めぐりん」、「東西めぐりん」に加え、新たに循環バスの路線を整備する。新しい路線は、北部地域と南部地域を時計回りで繋ぐルートとし、これら地域での双方向機能を高めるとともに、公共施設や観光施設などを結ぶことでさらなる利便性や回遊性の向上を図る。

△運行概要

- 路線距離 約12.3km
- 所要時間 1周約80分
- 運行間隔 20分
- 運賃(大人・子供とも) 100円

△運行開始時期(予定)

平成28年1月

5 子育てアシスト

443万円

(子育て支援課)

子育て家庭の様々な相談を受け、子育て支援サービスなどを円滑に利用できるよう支援窓口を設置する。

△事業概要

- 教育・保育施設等の利用に関する相談、情報提供等
それぞれのニーズに合った幼稚園、保育所、こども園や小規模保育などの相談、情報提供等を行う。
- 子育て支援サービスの利用に関する相談、情報提供等
一時預かり、子ども家庭支援センター等、子育て支援サービスの利用に関する相談、情報提供等を行う。
- 福祉、保健に関する情報提供等
育児や子どもの健康・発達に関する専門相談窓口の情報提供等を行う。

6 認可保育所の誘致／小規模保育施設の誘致

認可保育所 1億3,350万円

小規模保育施設 2,506万円

(児童保育課)

台東区は、これまで行政計画や台東区保育所等整備計画に基づき、保育施設の整備を推進することで保育環境の向上に努めてきた。

しかし、就学前人口の増加や働く環境の多様化により、今後も保育需要の増加が見込まれる。

こうした状況を踏まえ、保育環境の充実と待機児童対策をさらに積極的に推進するため、「子ども・子育て支援事業計画」（案）に基づき、平成27年度に新たな認可保育所と小規模保育施設の誘致を行う。

△認可保育所

- 誘致施設数 1か所
- 開設地域 南部地域
- 施設規模 0歳児から5歳児
- 開設時期 平成28年4月（予定）

△小規模保育施設

- 誘致施設数 1か所
- 施設規模 0歳児から2歳児
- 定員 19名程度
- 開設時期 平成28年4月（予定）

7 世界遺産登録推進

730万円

（世界遺産登録推進担当）

国立西洋美術館は、近代建築の巨匠と称されるフランス人建築家ル・コルビュジエの東アジアで唯一の建築作品である。現在、7か国（フランス・スイス・ドイツ・ベルギー・日本・アルゼンチン・インド）共同で国立西洋美術館を含む17の資産を、一括して世界文化遺産に登録することを目指している。

本区は、資産が所在する自治体として、国や東京都をはじめとした国内外の関係機関と連携し、国立西洋美術館の世界文化遺産登録を推進している。

△スケジュール（予定）

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| 平成27年1月30日まで | フランス政府が、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書（正式版）を提出 |
| 平成27年9月頃 | イコモスによる現地調査 |
| 平成28年4月～5月 | イコモスによる評価結果の勧告 |
| 平成28年6月 | 第40回世界遺産委員会において、世界遺産一覧表への記載の可否を審議 |

8 平和祈念

791万円

(生涯学習課)

平成27年は、多くの犠牲者を出した昭和20年3月10日の東京大空襲から70年、さらに平成7年の台東区平和都市宣言から20年目にあたる節目の年である。

この機に、あらためて平和の素晴らしさを見直す取組みとして、平成27年3月10日に「平和のつどい」を実施するとともに、11月に記録集、写真集を発行するなど、区を挙げて平和事業を展開し、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていく取組みを行う。

△戦争体験記録集の作成

若い世代が、当時台東区に居住していた方などから東京大空襲を含めた戦争体験を聴き取り、記録集を作成する。

記録集作成後は、児童生徒へ戦争体験を語り継ぐ取組みを行う。

△平和祈念写真集の作成

平和な社会の永続を願うため、戦争被害と復興そして現在の街の姿を区民が撮影した写真や地図を中心にまとめ、写真集として制作・発行する。

9 台東区公式ホームページ

2,207万円

(区長・広報室)

区公式ホームページのシステム機器更新に併せ、必要な情報をより探しやすく、見やすく、使いやすいホームページとなるよう、検索機能の充実や災害等緊急時の情報発信の強化を図る。

△主な改善点

○検索機能の充実

○災害時の情報提供の迅速化

○Twitter（ツイッター）との連動

○ウェブアクセシビリティ対応（※）の強化

※ 高齢者や障害者など、ホームページ等の利用になんらかの制約がある人でも、情報や機能を支障なく利用できること。

10 社会保障・税番号制度対応

10億9,484万円

(【普及啓発】企画課)

(【システム構築】情報システム課)

(【個人番号カード交付等】戸籍住民サービス課)

平成28年1月から運用が開始される社会保障・税番号制度（マイナ

ンバー制度)への対応を推進するとともに、区民への周知を図る。

△事業概要

広報の号外を発行するなど、本制度の普及啓発を図るとともに、希望する区民への個人番号カード交付に向け、準備を進める。

また、行政手続において個人番号を確実に活用できるよう、関係システムの改修を実施する。

11 旧東京音楽学校奏楽堂改修

1, 571万円

(文化振興課)

国の重要文化財である旧東京音楽学校奏楽堂の文化財的価値を維持し、生きた文化財として引き続き公開・活用を図るため、耐震補強や保存修理などの改修工事を行う。

△スケジュール

平成27年度	工事設計、工事
平成28～29年度	工事
平成30年度	工事、再開館準備、再開館

12 台東区産業振興事業団運営

9, 158万円

(産業振興課)

個別事業者に対する経営相談や支援事業の充実を図るため、事業団の機能を強化し、公益財団法人である事業団の特性を活かした、よりきめ細かな支援を実施する。

△事業概要

平成26年度まで区で実施していた個別企業支援事業(商工相談、新市場開拓支援など)を区から事業団に移管する。

また、個別企業の悩みに多様な方策で応えるため、新たに様々な支援機関との連携を強化し、「ビジネス支援ネットワーク」を構築することで「ワンストップ化による、よりきめ細かな支援」を展開する。

13 電線類地中化モデル実施／安全・安心な道づくり

電線類地中化モデル実施 2億9,011万円

安全・安心な道づくり 2億8,365万円

(土木課)

都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の形成を目的として、電線類地中化を推進する。

また、誰もが安心して活動できるまちづくりを推進するため、歩道の拡幅や新設、改良等、道路のバリアフリー化を図る。

△ かつぱ橋本通り（国際通り～かつぱ橋道具街通り区間）

電力・通信事業者のケーブルを収容する管路を道路の地下に構築する。

△ 馬道通り（雷門通り～言問通り区間）

電線共同溝本体から沿道の家屋や事業所に引き込むための管路を整備する。また、一部の歩道は拡幅し、段差や急傾斜等が緩和された構造へ改良するなど歩行空間のバリアフリー化を図るとともに、透水性カラー舗装、街路灯改修も併せて行う。

14 鉄道駅エレベーター等整備事業助成

1 億円

（地区整備課）

鉄道事業者が行う駅のエレベーター等のバリアフリー化整備に対して、経費の一部を補助することにより、区内鉄道駅における早期のバリアフリー化を促進し、福祉のまちづくりを推進する。

△ 対象

○ JR 浅草橋駅エレベーター 3 基・多機能トイレ 1 箇所

△ 助成金額

○ 助成率 対象経費の 1 / 3

○ 限度額 7 千万円（3 基以上設置 1 億円）

15 蔵前小学校改築

〔債務負担行為限度額〕 1 億 5 0 0 万円

（庶務課）

蔵前小学校学区域における就学前人口の増加に伴い、受け入れ可能な教室数を確保し、次世代の子ども達が安心して学び、生活できる教育環境を提供するため、蔵前小学校の校舎を改築する。

平成 27 年度は、基本設計と実施設計に着手する。

△ スケジュール（予定）

○ 平成 27 年 5 月～平成 28 年 6 月 基本・実施設計

○ 平成 28 年 9 月～平成 31 年 2 月 解体・新築工事

○ 平成 28 年 9 月～平成 31 年 3 月 仮校舎（旧柳北小学校校舎及び柳北スポーツプラザ）

○ 平成 31 年 4 月 新校舎開設

16 忍岡中学校大規模改修

15億9,947万円

(庶務課)

忍岡中学校は築後35年が経過し、設備の老朽化が進行している。そのため、電気・空調・給排水等の基幹設備の更新を行うとともに、バリアフリー対応や地球環境に配慮するなど、新しい時代に即した教育環境の整備を行う。

△スケジュール

○平成27年4月～平成28年3月 仮校舎（旧竜泉中学校）

○平成27年7月～平成28年3月 改修工事

○平成28年4月 新校舎開設

※ 環境整備工事（外構・校庭・プール）は平成28年8月まで

17 玉姫保育園等大規模改修

1,603万円

(児童保育課)

都営清川二丁目アパートの耐震改修工事にあわせて、併設の玉姫保育園・玉姫児童館・玉姫こどもクラブは、利用者の安全性の確保と良好な保育環境を整備するため、大規模改修工事等を行う。

なお、工事期間中の運営については、旧東京北部小包集中局の敷地の一部に仮設園舎を設置し、仮移転する。

△スケジュール

○平成27年度 都営住宅実施設計
玉姫保育園等仮園舎設置工事及び仮移転

○平成28年度 都営住宅耐震改修工事
玉姫保育園等大規模改修設計

○平成29年度 都営住宅耐震改修工事
玉姫保育園等大規模改修工事

18 台東区ジュニアオーケストラ

1,930万円

(青少年・スポーツ課)

台東区ジュニアオーケストラは、青少年教育の一環として、オーケストラでの演奏や練習を通じた情操教育に重点をおいた組織的教育活動を推進するとともに、演奏会に向けての練習や合宿等、同じ目標を共有する異年齢での集団活動を通じて社会性や協調性を培っている。

昭和55年12月20日に発団し、平成27年度で35周年を迎えるため、記念事業を行う。

△団員構成

総人員 197名（平成26年6月1日現在）

【内訳】 団員 146名（小学校4年生～高校生）

初級・養成教室 19名（小学校3年生～6年生）

アンサンブル部 32名（大学生年代まで）

△練習

定期練習（週1回）、日曜練習（月1回）、

強化練習（夏冬春季休業日）、夏季合宿

△演奏会

ホームコンサート、巡回演奏会など

△35周年記念事業

記念演奏会：9月22日（火・祝） 東京文化会館大ホール

記念誌発行等

19 上野の森ジュニア合唱団

1,149万円

（青少年・スポーツ課）

上野の森ジュニア合唱団は、青少年教育の一環として、合唱による活動を通じた情操教育に重点をおいた組織的教育活動を推進するとともに、演奏会に向けての練習や合宿等、同じ目標を共有する異年齢での集団活動を通じて社会性や協調性を培っている。

平成27年7月16日に発団し、平成27年度で25周年を迎えるため、記念事業を行う。

△団員構成

総人員 66名（平成26年6月1日現在）

【内訳】 団員 39名（小学校3年生～高校生）

準団員 27名（小学校2年生～4年生）

△練習

定期練習（週2回）、強化練習（夏冬春季休業日）、夏季合宿

△演奏会

ウインターコンサート、ミニコンサートなど

△25周年記念事業

演奏会：9月13日（日） 浅草公会堂

記念曲作成、記念誌発行等